

December 2024



アジアの野球界は、世代交代を通じて新たな挑戦を続ける

リム・スンホ / アソシエイト・プリンシパル

私たちの野球のヒーローたちは、アジアでの野球人気に多大な影響を与え、世界的に認められています。そして、私たちの象徴的なスポーツ施設も同様です。

選手たち自身と同様に、これらのボールパークは彼らの功績の重みを背負い、多くのファンの心に刻まれています。そして、優れた選手がそうであるように、ボールパーク施設においても同様に、変化するゲームに適応し続けることで成功を収めています。

台湾、そして私の母国である韓国、そして特に日本では、プロ野球界の大きな変化や成長に対応するために設計されたスタジアムがあり、ファンの期待に応えるためにますます多くのことを求められています。

オールラウンダー

私のような野球ファンの観客が増えるにつれ、施設所有・運営者は、その象徴的で文化的に重要なスタジアムが、より多目的であり、数日のうちに野球の試合から K-POP コンサートに柔軟に転換できるなど、多くの可変性を求めています。

日本の野球場では、コンサートで最高の光景を楽しみたいファンに提供される席が多くの場合ステージから離れており、さらに、多くの古い施設・会場は、VIP や企業関連のゲストに対応する設備が不足しています。

POPULOUS の シニア・プリンシパル、井原摩子氏は既存の多くの野球場は今後 10~20 年で改修が必要になると述べています。

「多くの現行のスタジアムは、さまざまな収容人数やモードの可変に対応するために、柔軟な座席配置・構成を必要としています。野球場のフィールドの大きさや全体的な形状も、その場所で中心的に行われる競技種目や興行時の演目などに応じて、ファンが最高の時間を過ごせる様に再構成することを可能とする可変性が求められます。」

井原 摩子 (Mako Ihara) / シニア・プリンシパル

また、開閉式の屋根の追加、オーディオビジュアルエフェクトのための最新のデジタル技術、飲食関連、スイート諸室・設備、更衣室施設の改善など、海外からのゲストを含むファンや選手・演者の期待に応えるための、さまざまなアップグレードが必要となります。

韓国では、POPULOUS はソウル市と協力して、アジア初の 2 つのプロチームが本拠地として利用予定の屋内型ドーム球場を計画しています。「[蚕室ドーム](#)」には、306 室の客室を有するホテルも併設され都心部の一等地にある資産を最大限に活用します。

蚕室 (チャムシル) ドームのようなプロジェクトは、40 年前に計画されたほとんどの球場においては十分に考慮されていなかった、ユニバーサルデザインや障がい者を含むすべての人々にアクセシブルな施設としての展開により重きを置いて計画が進んでいます。

これらの課題に対処するために、アジアにおける球場のデザインが進化する過程の最先端で取り組む中で、より一層、将来に向けて多くの開発機会が期待されます。台湾の[台北ドーム](#)の特長は多目的設計とコンサートモード時において 58,000 人のファンを収容できる能力です。

台北ドームは、主にメジャーリーグベースボール (MLB) の球場デザインを中心に設計され

ています。選手関連エリア内には、国内で初めて男性と女性の審判員用ロッカーが設置され、ラウンジのほか、運営用のバックヤードやメディア関連諸室、飲食関連エリア、VIP および多目的スペース等も構成されています。より注目されている多目的施設としての在り方を具現化した台北ドームは、この地域の他の野球スタジアムが模範とすべきモデルです。

球場と周辺区域開発

台北ドームは、地域社会に貢献し、周辺エリアと一体化しているドーム型野球場の一例でもあります。台北市の中心部に位置する台北ドームは、旧松山煙草工場跡地の敷地内に開発された、台湾で初めての統合型複合開発として、テーマ別の小売店、オフィス、アパートメント、ホテルなどが融合された施設が展開される計画となっています。

台湾では、スポーツへの関心が高まっており、台湾の都市は国際的または国内のマルチスポーツ大会を開催することに熱意を持っています。そのため、球場の再開発や台北ドームのような新しいスタジアムの建設がますます重要になっています。

POPULOUS のシニア・プリンシパル Brett Wightman 氏が述べるように、アジアにおける球場の所有モデルは進化しており、スタジアムを中核に据え、広範な周辺区域地区に統合する形での計画・開発を促進する動きが加速しています。

「伝統的に、アジアの多くのスタジアムは行政によって所有・運営されており、施設の主な目的は野球の試合を開催することでした。しかし、公的および民間の両方の団体が関与する多様化した所有モデルへの顕著な変化が見られる中で、スタジアム内外での全体的なファンエクスペリエンス（観客体験）を向上させるとともに、より商業的な側面に焦点が当てられるようになりました。」

ブレット・ワイトマン／シニア・プリンシパル

韓国・昌原市の昌原 NC パークの設計に携わることで、韓国国内のボールパークに新たなファンエクスペリエンスをもたらす機会であり、同時に試合日以外にも施設の利用を最大化することを可能にしました。POPULOUS が設計した昌原 NC パークと周辺の公園・公共空間は、人々が一年中足を運び、楽しめるように作られています。この新しいボールパークは、韓国で唯一オープンコンコース且つ、地上階に壁のないコンコースを採用した、韓国初のスタジアムです。

昌原 NC パークにおける課題は、ファンの体験を向上させながら、収益の可能性を高めることにありました。私たちはステークホルダーのニーズを考慮し、球団 NC ダイノスの本拠地や韓国各地の他のスタジアムにおけるファンエクスペリエンスを基準として、ファンが期待するこ

とをより深く理解することに努めました。次に、これをアトランタ・ブレーブスの本拠地である [トゥルーイスト・パーク](#) を含む、POPULOUS が手掛けた米国各地のボールパークにおけるファンエクスペリエンスとの比較・検証を行いました。

さらに、私たちが展開したのは、商業化（スポンサーシップと広告機会）、ウェイファインディング、ノンゲームデー（非試合日）における収益を向上させるためのオフシーズン中のコンテンツ展開戦略、飲食や物販の販売機会など、来場者に係る主要なタッチポイント全体におけるシームレスなファンエクスペリエンスを開発しデザインすることでした。

アジアにおけるボールパーク・エクスペリエンスの再創造

アジアとアメリカにおける観客が、エクスペリエンスとして何を求めるかという点では大きく異なりますが、アジアのボールパークの再創造と、過去 10 年間に北米市場が経験したアップグレード、改修、新設のスタジアムとの間には多くの類似点があると思います。

POPULOUS は 40 年以上にわたり、米国とカナダの MLB 球団と協働し、トロントの [ロジャーズ・センター](#) などの主要な球場のアップグレードに取り組んできました。トロント・ブルージェイズは、POPULOUS と協働して、次世代のファンのためにボールパークを近代化するべく、民間資金を投じての改修を行いました。これは、施設が開業してから 34 年の歴史における、初めての大規模な改修です。

実際、POPULOUS は MLB の大半のチームと協力し、象徴的なヤンキー・スタジアムを含むメジャーリーグ球場の多くを設計してきました。2000 年代初頭、[ヤンキー・スタジアム](#) が老朽化で役目を終えようとするなかで、POPULOUS は単なる代替品ではなく、新たなアメリカのアイコンをデザインするという課題に直面しました。多くの評論家は、旧ボールパークの無形の栄光を再現することは不可能だと考えていましたが、2009 年に新しいヤンキー・スタジアムがオープンしたとき、それは時代をつなぐ架け橋となり、ファンが共有する思い出に浸りながら、新たな物語が生まれる場所となりました。

しかし、MLB と NPB（日本野球機構）のようなアジアのプロリーグとの間には共通点があるものの、北米のモデルをそのまま私たちの地域における施設展開に適用することはできません。

新世代のファンにふさわしいボールパーク

アジアでは野球の人気の高まり、商業的なチャンスも増え続けています。MLB チームが定期的にこの地域でエキシビジョンゲームを行うことや、イチローや大谷翔平のような日本人選手が MLB で活躍し、地元の若いアスリートに影響を与えています。さらに、ワールド・ベース

ボール・クラシックやオリンピック・パラリンピックでの野球競技などのイベントなど、アジアが野球を世界に広め、世界がアジアにおける野球に注目するようになっていきます。

「野球は世界的なゲームであり、来シーズン、MLBを東京ドームに迎えることを楽しみにしています。」

ブレット・ワイトマン／シニア・プリンシパル

高校や大学の次世代の野球選手たちにインスピレーションを与えることに寄与するボールパークの在り方。新しい世代が私たちのボールパークやそこでプレーした選手たちの成果を振り返るとき、彼らはアジアのボールパークの未来を見据えています。私たち POPULOUS チームは、地域を超えて連携しながら、ボールパークの概念を再構築し、他にはない体験を提供することを目指しています。

【お問い合わせ】

井原摩子

シニア・プリンシパル | 日本事業統括代表

email: mako.ihara@populous.com